

市議会だより

2022年2月

第16号

新見市議会広報紙 12月定例会

如月(きさらぎ)の寒さ

4日は立春。凍てつく水車もやがて春を迎え、水の流れとともに農耕が始まります。

写真提供：写真で新見を繋げる会

目次

- ② 12月定例会審議内容・12月定例会審議結果
- ③ 各委員会報告
- ⑦ 議長等の活動報告
- ⑧・⑪ 議会活動についての市民アンケート
- ⑨ 市民アンケート回答用紙一般質問
- ⑫ にーみんの議会Q&A・3月定例会(予定)・編集後記
- ⑬
- ⑭

令和3年12月定例会審議内容

令和3年12月新見市議会定例会は、11月25日から12月20日までの26日間開催しました。

新見市消防団に関する条例の一部改正など条例10件、5億4357万5千円を追加する令和3年度一般会計補正予算（第6号）など予算4件、新見市過疎地域持続的発展市町村計画の策定について、新見市憩いとふれあいの公園等の指定管理者の指定についてなど議案16件、請願1件、陳情1件、発議1件と、最終日に提案された非課税世帯等臨時特別給付金事業及び子育て世帯等臨時特別支援事業に係る経費などの9億6480万円を追加する令和3年度新見市一般会計補正予算（第7号）の予算1件を審議しました。

このうち、令和3年度新見市一般会計補正予算（第6号）の大学運営費交付金については、予算決算常任委員会で留保した「整備工事費及び備品購入費は、基本協定書及び公募内容に指定業者が整備するようになっている」など三点の理由で、反対の少数意見を報告。討論では、「年間賃借料1800万円が必要で、15年と契約年数が長い」「大学に地域共生推進センターを建設したばかりで類似の内容である」など5人が反対意見を表明しました。一方、「新見駅西エリアの計画内容は多くの市民が関わり、願いや思いを反映した事業」「まちなかの学社融合拠点となる」「反対なら予算修正案を示すべき」など5人が賛成討論しました。各審議結果は次のとおりです。

令和3年12月定例会審議結果

●議案の部

条例	10件すべて原案可決	その他議案	16件すべて原案可決
予算	5件すべて原案可決	発議	1件原案可決

●請願・陳情の部

請願・陳情番号	請願・陳情名	結果
請願第1号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	不採択
陳情第3号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する新見市独自の補助制度の創設を求める陳情書	不採択

●議案に対して賛否が分かれたもの

議案番号	議員名	議席番号														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	土屋将	林司朗	峠一也	仲田芳人	西川照雄	岡崎裕生	古川英明	宮本英基	岩田秀之	藤澤正則	林光和	塩飽満路	橋本亨子	榎日出男	小河俊文	
請願第1号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	
陳情第3号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する新見市独自の補助制度の創設を求める陳情書	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	
予算第28号	令和3年度新見市一般会計補正予算(第6号)	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は表決に加わっていません。

各委員会報告

総務消防 常任委員会

新見市過疎地域持続
的発展市町村計画な
どの議案を審査

総務消防常任委員会を12月8日に開催し、付託された議案等の審査を行いました。

付託事件の審査

- 条例第42号 新見市行政手続における押印義務の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例
- 条例第43号 過疎地域の公示に伴う市税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 条例第44号 新見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 条例第45号 新見市消防団に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第9号 新見市過疎地域持続的発展市町村計画の策定について
- 議案第10号 岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及

び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について

以上6件の議案について、各担当課からの提案説明に対して審査を行った結果、反対はなく原案のとおり可決しました。

報告事項について

- 11月23日に新見公立大学を会場に実施した避難所運営訓練について。
- 令和3年度の個別施設計画の変更点について。
 - ① 方針の変更（それぞれ譲渡からの変更）・引無コミュニティハウス（令和8年度に解体）・さわやか広場（継続）・哲西千子リゾート（令和5年度廃止）・神郷神代加工施設（令和3年度解体）
 - ② 対策内容の変更 2件
 - ③ 対策年度の変更 4件
- 第3次新見市総合計画等の外部評価委員会について。
- 中学生まちづくりプレゼンテーションの実施について。

- 押印義務の見直しについて。（対象となる1523件の押印が必要な文書のうち93・3%にあたる1421件について押印義務を廃止していく予定。）
- 新見市消防庁舎の建設について。（用地を新見市新見水舟地区に決定し、令和4年度に用地を取得し、基本設計・実施設計に入る。令和5年度に着工し、令和6年度中の完成の予定。）



調査事件について

本委員会に関わるその他の調査事件について、各委員が質疑を行いました。主な質疑と答弁は次のとおりです。

委員問

鉄道利用促進協議会につ

いて説明を求める。

● 答弁 9月30日に協議会を設立し、第1回目の会議を行った。会議では、駅カードの発行や県境鉄道サミット等について協議した。1月から2月にかけて第2回目の協議会を開催し、今後の取組を協議する。

● 委員問 携帯電話不感地域についての対応は。

● 答弁 ソフトバンク社については、会議の都度、再三にわたり申し入れをしている。令和3年は市内で7基地局が追加されている。他の携帯電話会社についても不感地域への対策を要望していく。

文教福祉 常任委員会

憩いとふれあいの公
園などの指定管理者
の指定を可決

文教福祉常任委員会を12月9日に開催し、付託された9議案を審査。その後、執行部からの報告事項と委員会からの調査を行いました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

- 条例第46号 新見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運

営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

● 条例第47号 新見市国民健康保険条例の一部を改正する条例

以上2つの条例改正は、国の法令改正に伴い所要の改正を行うもので、全会一致で可決しました。

● 議案第12号 新見市神郷地域福祉センターの指定管理者の指定について

● 議案第13号 新見市三坂生きがい活動支援センターの指定管理者の指定について

● 議案第14号 新見市法曾陶芸館の指定管理者の指定について

● 議案第15号 中央図書館喫茶室の指定管理者の指定について

● 議案第16号 新見市憩いとふれあいの公園等の指定管理者の指定について

● 議案第17号 新見市福本グラウンドの指定管理者の指定について

● 議案第18号 新見市千屋多目的広場の指定管理者の指定について

これらの議案は、全ての施設の指定管理期間が、令和4年3月31日で終了するため、新たに5年間の指定管理者を指定するものです。委員からは、従来よりも候補者の事業状況の詳細な説明や指定管理料の有無等、

丁寧な説明を求める意見が出ました。全会一致で可決しました。

報告事項について

● 大佐中学校区における小中一貫教育の取組の経過、令和3年度の成人式の開催、新型コロナウイルスワクチンの3回目追加接種、子育て世帯等臨時特別支援事業の準備状況等についての報告が、担当課からありました。

調査事件について

● 委員問 良質な漆が採取できないか。今後の方針と活用の方針は。

● 答弁 漆の採取は現在市内の方にお願いしているが、漆に関しては専門的な知識が必要な分野なので、行政が引き続き管理を担うことが適切か否か、今後検討していきたい。

● 委員問 指定管理料が発生する施設の指定管理者を審査する場合、必ず金額を明示してもらいたい。

● 答弁 審議する際に、当然必要な情報なので、庁内全体で協議し、今後適切な対応をしていきたい。

● 委員問 新型コロナウイルスワクチンの接種をしない、またはできない人への同調圧力や生きづらさが問題となっている。本市の学校では適

切な対応ができていないか。

● 答弁 本市では、各学校長を通じて、ワクチン接種の有無を把握するようなことがないよう指導している。

産業建設常任委員会

新見市中心市街地活性化拠点施設（太池邸）の指定管理者を可決

産業建設常任委員会を12月10日に開催し、付託事件の条例4件、議案7件を審査しました。各付託事件について、執行部からの説明の後、質疑討論を行った結果、全会一致で原案のとおり可決しました。この内、議案第19号の中心市街地活性化拠点施設の太池邸に係る指定管理者には、一般社団法人新見市観光協会を指定することに決しました。

また、9月定例会で継続審査としていた請願第1号「新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願」については、11月1日の閉会中審査において再度審査した結果、委員から国の動向を注視する必要があるとの意見が多く、不採択としました。付託事件の主な審査内容を紹介します。

付託事件の審査

● 議案第19号 新見市中心市街地活性化拠点施設の指定管理者の指定について（※太池邸）

● 委員問 指定管理料やその他の経費はいくらかかるのか。

● 答弁 指定管理料については、年間157万3千円以下としている。経費は、光熱費を年間33万円、駐車場代18万円を見込んでいます。

● 委員問 その施設で行う事業内容は。

● 答弁 地元の協力を得ながら、各種のイベントの開催などによる、おもてなしの拠り所となる観光拠点施設として誘客活動を行う。



その他の付託事件

- 条例第48号 新見市農林土木事業分担金徴収条例の一部を改正する条例
- 条例第49号 新見市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例
- 条例第50号 新見市水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例
- 条例第51号 新見市水道事業給水条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 議案第11号 字の区域・名称の変更について
- 議案第20号 新見市別所アウトドアスポーツセンターの指定管理者の指定について
- 議案第21号 新見市神郷三室農村交流体験施設等の指定管理者の指定について
- 議案第22号 新見市三室峡ふるさと森の指定管理者の指定について
- 議案第23号 新見市ふれあい加工施設4大佐農産加工施設の指定管理者の指定について
- 議案第24号 新見市神郷特産物展示直売研修施設及びレストランしんごうの指定管理者の指定について

調査事件について

- 委員問 観光協会には、事務局長が置かれていないが、太池邸の管理運営について市はどうお考えか。
- 答弁 事務局長については、現在検討中である。運営については、地元のパランティア団体などと連携し、誘客に努める。
- 委員問 キャンプの人气が高まっているが、別所アウトドアスポーツセンターの芝生広場に水道施設が必要ではないか。
- 答弁 ニーズを把握しながら、検討する。



予算決算 常任委員会

令和3年度新見市一般会計補正予算・特別会計補正予算を可決

予算決算常任委員会は12月13日、20日に開催し、12月議会に上程され付託された5議案を審査し、すべて原案どおり可決しました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

● 予算第28号 令和3年度新見市一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感染症対策事業として、公共交通事業者等緊急支援金、新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)に係る経費の増額に1億6467万2千円、金谷地区土地区画整理事業に570万円、消防庁舎を新たに整備するに当たり、土地購入予定地の敷地測量設計調査や消防緊急無線電波状況調査等に1800万円、また、新見公立大学が新見駅西エリアの居住施設1階スペースの活用に伴う事業等に大学運営費交付金1億1802万5千円など、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億4357万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ259億8

652万4千円とする補正予算を可決しました。

【審査した事業の主なもの】

予算第28号 令和3年度新見市一般会計補正予算(第6号)のうち、新見駅西エリア整備事業の居住施設に整備される1階スペースの活用に伴う大学運営費交付金について、市が大学に交付金を交付し、民間施設を整備すること、年間のテナント料1800万円で賃貸借期間が15年という賃貸借契約の妥当性への疑義、地域共生推進センターと同様の事業を行うスペースが必要なのかという反対意見が出た。一方、課題はあるものの、市民や地域団体が熱心に関わっており、新見駅周辺のにぎわい創出に向けたまちづくりを止めるわけにはいかないなどの理由による賛成意見が出た。慎重審査した結果、予算第28号については賛成多数で原案のとおり可決しました。

● 予算第29号 令和3年度新見市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

● 予算第30号 令和3年度新見市

介護保険特別会計補正予算(第2号)

● 予算第31号 令和3年度新見市後期高齢者医療特別会計補正予算(第

予算第29号から予算第31号までについては、全会一致の賛成で原案のとおり可決しました。

●予算第32号 令和3年度新見市一般会計補正予算(第7号)

非課税世帯等臨時特別給付金事業費に5億3390万円、子育て世帯等臨時特別支援事業費に3億6420万円、米づくり応援特別支援金に6670万円、歳入歳出予算の総額にそれぞれ9億6480万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ269億5132万4千円とする補正予算を審査し、可決しました。

【審査した事業の主なもの】

国の新型コロナウイルス経済対策として進める0歳から18歳以下への子育て世帯等臨時特別支援給付金は現金10万円を一括支給することになりました。

また、米価下落に伴う支援では、次期作付けを応援するため、経費の一部を補助します。



(新見高校 総合ビジネス科 生徒2名が市役所の仕事を体験する一環として、予算決算常任委員会を傍聴し、議場を見学しました。)



【インターンシップを受け入れ】

地づく会
まちづくり
駅周辺の
特別委員
新見駅周辺
のまちづく
り特別委員

新見駅西エリアの整備
進捗状況について

新見駅周辺地域のまちづくり特別委員会を12月14日に開催し、執行部から、11月に策定された「新見駅周辺まちづくり基本方針」について説明がありました。併せて、基本方針に基づいた、「基本構想」を令和3年度に策定する旨の報告を受けました。

- 駅周辺のまちづくりについて、各委員からは、
- ・基本構想策定から事業実施に向けた実施スケジュール
 - ・まちづくり全体としての総事業費及びその財源
 - ・駅周辺の活性化は新見市の大きな課題だが、慎重に進めること
 - ・新見駅周辺のまちづくりの全体的な青写真の説明
 - などを求める意見や提言がなされました。

執行部は、これから策定する「基本構想」の中で、それらについて示していきたい、と答弁がありました。また、駅西エリアの整備事業について、各委員からは、

・大学が、民間団体や市と相互に連携して実施する事業の詳細な説明の提示を求める意見などが出されました。

執行部は、活用方法などについて、随時議会に報告していきたいと答弁がありました。

本委員会では、ワークショップやアンケートなどを通じて出された市民からの声を反映した新見駅周辺のにぎわい創出実現のため、引き続き調査研究を行ってまいります。



議長等の活動報告

- 10月9日 時代を彩った日本画名品展開会式
に出席〔副議長〕
- 14日 議会広報特別委員会
- 17日 令和3年度にいみ福祉大会に出席
〔議長〕
- 24日 新見市障がい者家族ふれあいスポ
ーツ大会に出席〔議長〕
- 30日 新見市文学選奨表彰式に出席
〔副議長〕
- 11月1日 産業建設常任委員会
- 2日 総務消防常任委員会
- 4日 文教福祉常任委員会
- 7日 千屋野の里 特産品うめえもん市
に出席〔議長〕
- 8日 新見市老人クラブ連合会長杯グラ
ウンドゴルフ大会に出席〔議長〕
- 9日～10日 全国市議会議長会理事会・評議員
会に出席、地元国会議員への要望
活動（東京都）〔正副議長〕
- 14日 哲西町文化祭開会式に出席
〔議長〕
- 15日 全国過疎地域連盟定期総会に出席
（東京都）〔議長〕
- 17日 議会運営委員会
議会広報特別委員会
- 25日 本会議（開会）



- 12月5日 令和3年度新見市婦人連合協議会
大会並びに新見市民運動推進協議
大会に出席〔議長〕
- 6日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 総務消防常任委員会
- 9日 文教福祉常任委員会
- 10日 令和3年度いぶきの里スキー場オ
ープン安全祈願に出席〔副議長〕
産業建設常任委員会



- 13日 予算決算常任委員会
- 14日 新見駅周辺地域のまちづくり特別
委員会
- 15日 議会広報特別委員会
- 16日 都道府県対抗全日本中学生ソフト
ボール大会令和3年度第2回実行
委員会に出席〔議長〕
- 17日 議会運営委員会
- 20日 議員全員協議会
本会議（閉会）
- 24日 令和3年度「新見市中学生まちづ
くりプレゼンテーション」に出席
〔議長ほか〕
- 27日 第33回新見市コロナウイルス感染
症対策本部会議に出席〔議長〕

4. 市政の課題について

議会活動の最大の使命は、市民の皆様の声の市政への反映であります。いただいた思いや意見や要望を議会として形とし、執行部に提案していきます。市政の課題について皆様のお気持ちをお尋ねします。

Q7. あなたは、新見市政や地域の課題は何だと思えますか。(1~41項目の中から5項目まで選んでください)

◎教育医療福祉

- 1 高齢者福祉、2 障がい者福祉、3 子育て支援、4 学校教育、5 生涯学習、6 生きがいづくり、7 健康づくり、8 地域医療、9 郷土学習、10 大学と地域の連携、11 小中高校と地域との連携、12 歴史文化の保護活用、13 スポーツ振興、14 文化振興、15 県立高校の再編

◎産業

- 16 農林畜産業の振興、17 鉱工業の振興、18 商業振興、19 企業誘致、20 起業等による新しい仕事づくり、21 特産物づくりと販路開拓、22 観光振興、23 鳥獣被害対策

◎地域社会づくり

- 24 人口減少問題、25 移住定住問題、26 コミュニティづくり、27 NPO(*2) 活動の活性化、28 住宅政策、29 空き家や耕作放棄地の利活用、30 自治を基盤とした市民参加のまちづくり、31 多様性を認める共生社会づくり、32 関係人口(*3) づくり、33 自然との共存

◎運輸通信・社会基盤整備

- 34 道路整備、35 河川改修、36 地域公共交通問題、37 国際交流、38 I T(*4) 社会づくり、39 消防・防災、40 都市基盤整備、41 その他 ()

Q8. 前問であなたが選んだ5項目のうち最も課題だと思うことを具体的に教えてください。()

5. 議会議員のなり手不足について

現在、各地の議会議員選挙で立候補者が少なく無投票や少数激戦となり、「議員のなり手不足」が問題となっています。新見市にも同様の傾向があります。議会と執行部の二元代表制にとって危機でもあり、制度や議会活動の改善なども求められていると認識しています。皆様のお気持ちをお尋ねします。

Q9. あなたは、議員を志す人が少ない原因は何だと思えますか。(3項目まで選んでください)

- 1 議会の役割がよく分からない、2 兼職規制がある、3 報酬が少ない、議員年金がないなど経済的に不安定、4 選挙に金がかかる、5 行政のチェック機能を果たしていない、6 提案型の議会活動が不十分、7 定数が少なく当選に沢山の得票が必要、8 政治不信、9 政治や行政に興味がない、10 当落を伴うため生活が不安定、11 土日にも仕事がある、12 議員に魅力がない、13 その他 ()

6. 新見市議会へのご意見について

Q10. 新見市議会へのご意見ご提案がありましたら自由に記入ください。()

ご協力ありがとうございました

用語説明

- *1 ワークショップ…参加者が主体となる参加型の会議や共同作業のこと。
- *2 NPO…営利目的ではない団体のこと。非営利で社会貢献活動やボランティア活動を行う市民団体のこと。
- *3 関係人口…移住した定住人口でもなく、観光に来た交流人口でない、地域と多様に関わる人々を指す。
- *4 I T…パソコンやスマートフォンなどコンピューターネットワークを使った情報技術の総称で、情報を入手、加工、保存、伝達する技術のこと。

市民アンケートの回答用紙【※こちらにご回答ください。】

この用紙は、折りたたむと封書になります。切手を貼らずにポストに入れてください。
 または、この面をFAXしてください。●議会事務局FAX番号：72-6183

■ 1. あなた自身についてお聞かせください

1 性別	<input type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女 ・ <input type="checkbox"/> その他
2 年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上
3 お住まいの地域を教えてください	

■ 2. 議会報告・意見交換会について

Q1. あなたは、これまで「議会報告会」があることを知っていましたか。

<input type="checkbox"/> 1 知っていた	<input type="checkbox"/> 2 知らなかった
----------------------------------	-----------------------------------

Q2. 議会報告会の開催日や開催時間、開催場所についてお気持ちを教えてください。
 (各項目をひとつだけ選択回答ください)

[開催日]	<input type="checkbox"/> 1 平日がいい	<input type="checkbox"/> 2 土日がいい
[開催時間]	<input type="checkbox"/> 1 夜間がいい	<input type="checkbox"/> 2 昼間がいい
[開催場所]	<input type="checkbox"/> 1 開催場所を増やしてほしい	<input type="checkbox"/> 2 旧町4支局と旧市4か所での開催
	<input type="checkbox"/> 3 これまでの程度でいい	<input type="checkbox"/> 4 その他 ()

Q3. あなたは、どのような「議会報告会」の内容を望みますか。(ひとつだけ選択回答ください)

<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

■ 3. 「新見市議会だより」について

Q4. あなたは、「議会だより」を読みますか。(ひとつだけ選択回答ください)

<input type="checkbox"/> 1 毎号全ページを読む	<input type="checkbox"/> 2 毎号必ず読むページがある
<input type="checkbox"/> 3 時々読む	<input type="checkbox"/> 4 ほとんど読まない

Q5. あなたは、今の「議会だより」が読みやすいと思いますか。(ひとつだけ選択回答ください)

<input type="checkbox"/> 1 読みやすい	<input type="checkbox"/> 2 読みにくい
----------------------------------	----------------------------------

Q6. 「議会だより」をより良くするため、あなたは、どのような紙面・内容を望みますか。
 (アンケート用紙の1～9項目の中から、3項目まで選んで番号を記入してください)

			その他選択時の記入：
--	--	--	------------

■ 4. 市政の課題について

Q7. あなたは、新見市政や地域の課題は何だと思えますか。

(アンケート用紙の1～41項目の中から、5項目まで選んで番号を記入してください)

--	--	--	--	--

Q8. 前問であなたが選んだ5項目のうち最も課題だと思えることを具体的に教えてください。
 ()

■ 5. 議会議員のなり手不足について

Q9. あなたは、議員を志す人が少ない原因は何だと思えますか。

(アンケート用紙の1～13項目の中から、3項目まで選んで番号を記入してください)

			その他選択時の記入：
--	--	--	------------

■ 6. 新見市議会へのご意見について

Q10. ()

この面は封書にした際、封書の裏側になります。

料
金
受
取
入
払
郵
便

新見局承認

3002

差出有効期間
令和4年
4月30日まで
(切手不要)

② 折る



新見市議会議事事務局

行

新見市新見三二〇番地三

7
1
8
8
7
9
0

① 折る

この面は封書にした際、封書の内側になります。

✂ 切り取り線

新見市議会は、市議会基本条例を制定し、「開かれた議会」を目指して議会情報を公開するとともに市民の声を聴き、本市の発展充実に願いながら市民ニーズを市政に反映すべく日々活動しています。

その活動の一環として毎年各地で開催しております「議会報告会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2、3年度と2年連続中止となりました。そこで、市民アンケートをもって市民の皆様の「市政への課題」「議会改革」に対するお気持ちを伺いいただき、これからの議会活動に活かしていきたいと、「議会だより」を通じ質問・回答用紙をお届けいたしました。

どうか、お気持ちにふさわしい答えを選択し、またはご意見を記入くださいますようお願い申し上げます。なお、調査の集計は統計的に処理し、その結果は議会広報紙等で公表いたします。

新見市議会議長 石田 實

※回答は、2月28日までに別紙回答用紙に記入していただき、郵送またはFAXください。

1. あなたご自身についてお聞かせください

- 1 性別（男・女・その他）
- 2 年齢（10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上）
- 3 お住まいの地域を教えてください（ ）

2. 議会報告・意見交換会について

現在、新見市議会では、新見市議会基本条例に基づき、議会の動きを報告するとともに市民の方々の意見をお伺いする「議会報告・意見交換会」を毎年、市内17会場に議員が出向き開催しています。残念ながら市民の皆様の参加はあまり多くありません。そこで「議会報告会」についてお尋ねします。

Q1. あなたは、これまで「議会報告会」があることを知っていましたか。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

Q2. 議会報告会の開催日や開催時間、開催場所についてお気持ちを教えてください。

〔開催日〕 1 平日がいい、 2 土日がいい

〔開催時間〕 1 夜間がいい、 2 昼間がいい

〔開催場所〕 1 開催場所を増やしてほしい、 2 旧町4支局と旧市4か所での開催
3 これまでの程度でいい、 4 その他（ ）

Q3. あなたは、どのような「議会報告会」の内容を望みますか。ひとつだけ選択回答ください。

- 1 個別にテーマを設けた上で市民と議員が自由に意見交換、
- 2 テーマを設け市民と議員がワークショップ（*1）形式でテーマを掘り下げる意見交換、
- 3 各地域に応じたテーマを設け課題解決に向けて意見交換、
- 4 世代別や団体別を対象とした意見交換、
- 5 テーマを設けず様々な分野を話し要望できる意見交換

3. 「新見市議会だより」について

新見市議会では、開かれた議会を目指し、定例会（6, 9, 12, 3月）ごとに「議会だより」を発行しています。より魅力ある紙面づくりのため、皆様のお気持ちをお尋ねします。

Q4. あなたは、「議会だより」を読みますか。

- 1 毎号全ページを読む、 2 毎号必ず読むページがある、 3 時々読む、 4 ほとんど読まない

Q5. あなたは、今の「議会だより」が読みやすいと思いますか。

- 1 読みやすい、 2 読みにくい

Q6. 「議会だより」をより良くするため、あなたは、どのような紙面・内容を望みますか。（3項目まで選んでください）

- 1 文字を大きくする、 2 写真やグラフなどを多く使う、 3 特集記事を載せる、
- 4 委員会での意見や動向を紹介する、 5 市民や地域の登場する紙面づくりをする、
- 6 一般質問の内容は新聞やテレビで知ることができるので掲載方法を工夫する、
- 7 市民の議会に対する声や意見を載せる、 8 全ページをカラーにする、
- 9 その他（ ）

一般質問

※質問した議員が
自ら原稿を執筆
しています。



ふじさわ まさのり
藤澤 正則
議員

市長就任1年を振り返って

問 市長就任1年を振り返って市長の執務の感想は。9月議会において、令和2年度決算に付帯した決議の内容について、令和4年度にどのように対応するのか。

答 新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年だった。また、市政の推進のため、5つの項目を柱に捉え本市の最重要課題である人口減少の解決に向け、まずは、生まれてから就職するまでの支援を中心に取り組んできた。付帯決議の内容は、十分考慮する必要があり、令和4年度の予算に反映させることを考えている。農林水産業施策は、事

業内容を精査し、農林畜産業の所得が増えるための施策を充実したい。また、他の費用対効果が低いと思われる事業の予算措置の検討については、事業内容を総合的に検証したいと考えている。

問 本市の米価下落への対応について。県内他市では、米1俵あたりの補助金の交付や、次期の水稲作付けに対する交付金を交付するところもあると聞いている。また、大佐地区では米の専業農家が次年度の水田耕作面積を減反し、水田所有者に返還をするが、次の借り手がおらず、耕作の継続が困難との情報も得ている。本市産業への影響は。

答 作付け減反の影響を受けた農家が次期の作付けを断念することで、遊休農地の増加に拍車がかかることが懸念されるため、価格下落に対する差額を補填するのではなく、継続的な営農を支援する対策

について検討し、早急に対応していく。

問 本市のふるさと納税の返礼品の新見産米の需要はいかほどか。また、返礼品の内容を充実させ、他市に負けない営業努力が必要ではないか。

答 令和3年度は15俵。今後は、高価格の米に限らず同じ額で量を増やした米の取扱いを研究する。

市役所西棟の改築は。

答 建物も老朽化し、現在、ご提案いただいた防災拠点施設も含めて、早期な施設整備の計画を考えている。



つちや ますむつ
土屋 将
議員

コロナ禍における米価下落対策について

問 人口減少、少子化、食生活の多様化により、消費者の米離れが加速している。加えてコロナ禍による外食産業の

需要の大幅な減少により、J Aの概算金は、主要銘柄で前年を3千円以上も下回り、過去最大級の下げ幅になった。米価下落についての市民からの要望は何件あり、その内容はどのようなものか。

答 農業団体などから助成を求めた要望書が2件あった。

問 他市の事例において、様々な対策がなされており、米価下落分の2分の1の補填つなぎ融資の利子助成、収入保険の掛け捨て保険料の助成、経営相談窓口の設置などの取組がある。本市も同様の対応をしてはどうか。

答 米価下落分の補填は考えていない。農家の生産意欲が低下し、遊休農地の増加が懸念される。継続的な営農がなされるように、次期作付け農家への支援を、今後早急に検討する。

問 耕作放棄地の対応策として請負業者や集落営農組織に対して農機具購入費の助成を行っているかどうか。

答 現状では考えていない。現状の融資制度を活用していただきたい。

スマート林業の振興について

問 真庭市で取り組まれている「森林ICTプラットフォームの構築」を導入してはどうか。

答 本市は境界が不明瞭な山林が多く、プラットフォーム構築により近隣市町のような成果を上げるとは難しく、現状では導入を考えていない。

苗木運搬ドローンの普及推進をどうするか。

答 苗木運搬ドローンについては、見学会を開催して普及に努めながら、新技術の情報収集や調査、研究を行いたい。



▲林業用運搬ドローン



おかざき ひろお
岡崎 裕生
議員

買い物支援について

問 「食料品アクセス(買い物弱者問題)」についての支援策は。

答 路線バスや市街地循環バスへの助成、市営バスや予約型乗合タクシーの運行、送迎サービスの支援などを行っている。

問 民間事業者が行っている買い物支援についての考えは。

答 高齢化などにより、事業者の撤退が進んでいる。宅配や移動販売等を行う事業者の支援について具体的に検討を行っている。

問 個人商店が経営を持続するための施策についての考えは。

答 個人商店も経営に苦慮されている。小規模事業者等持続化補助金を活用してもらうなど、商工団体とも協力し経

営が持続できるよう支援していく。

地域共生社会で核になる人材について

問 民生委員のなり手不足が懸念されているが、人材確保に向けての考えは。

答 人口減少や高齢者の就業拡大による民生委員の担い手不足、福祉課題の複雑化・複合化による業務量の増加などが背景にある。適任となる人材の情報を共有し、業務の内容や量を精査するなど、活動しやすい環境作りを行っている。

問 支局に保健師を配置しなくなったのはなぜか。

答 限られた人材を効果的に配置し、効率的に業務を進めることを目的として本庁舎に集約した。

第3次新見市総合計画について

問 SDGs推進の観点を盛り込み、市長の施政方針を反映させた第3次新見市総合計画とするために改訂は行わないのか。

答 現段階では、計画の改訂は考えていない。新たな行政需要や課題を的確に捉え、課題解決につながる施策について、スピード感をもって実行したい。

問 総合計画を策定し検証・見直しを行う仕組みづくりについての考えは。

答 内部評価を行う仕組みを本年度から構築している。併せて外部評価委員からも意見をいただくこととしている。意見を参考に、必要な見直しや改善を行い、効率的かつ効果的な政策推進に努める。



はしもと きょうこ
橋本 亨子
議員

気候危機打開に向けた対策について

問 国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)が閉幕したが、気候危機は緊急に解決すべき大問題。本市

では地球温暖化対策にどう取り組みんでいくのか。

答 国の新たな目標がまだ示されていない。

問 公共施設・公共事業・自治体が行う業務のCO2削減の現状は。

答 令和7年度までの計画を策定しており、令和12年度に26%の削減を目標に推進している。

問 市内全域を視野に入れた取組の現状は。

答 環境基本計画や第3次新見市総合計画に基づき推進しているが、令和5年度には見直しをしていく。

問 住民や地元企業への意識啓発や助言など、専門的なアドバイスをするための支援窓口を設置し推進体制の強化をするべきではないか。

答 自治体としてもしっかりと取り組んでいかなければならない。体制については機構再編も含めて検討していく。

問 米価下落に対する対策について

問 価格が暴落したことで、

コメ生産農家への影響をどのように考えるか。

答 営農意欲が低下し、次期生産への意欲が無くなると考えられる。

問 次期の生産に向け、意欲が持てる状況をつくるためにどのような対策が必要と考えるか。

答 継続的な営農ができるような支援が必要だと考える。

問 県内では、現在4市2町2村で米価の下落に対する独自の補助制度を実施しているが、本市でも助成を実施するべきではないか。

答 下落分への助成ではなく、次期の作付けに向けた経費の一部助成を検討している。

問 高齢性難聴者の補聴器購入への補助制度の創設について

問 高齢により耳が聞こえにくくなると人との会話が減り、認知症の最大の危険因子ともいわれている。補聴器購入への市独自の助成制度の実施を。

答 令和2年度に、議会から国への意見書が提出されている

ることから、国の動向を注視していきたい。



たわだ かずや
嶋田 一也
議員

問 令和3年8月秋雨前線豪雨災害について

問 法曾地区における災害の、直接原因とその対応について。

答 市有地の法面が崩れ水路に土砂が堆積して起きたものである。

地域の人と協議し、令和4年の出水期までに崩れた石垣の補修を行うことを説明して了解をもらっている。平成30年から災害が相次ぎ、優先順位を付けながら復旧を順次やっている。気象状況などで、緊急的な場合は、臨機応変に対応していく。

問 畜産振興について

問 他の県や市の和牛増頭政策について、調査、研究はし

たか。また、増頭事業の要綱の見直しは行ったか。

答 千屋牛振興会や新見市農業技術者連絡協議会と連携して先進地の視察や新技術などの調査、研究を行っている。

和牛改良補助金は、より肉質をよくするため令和元年度に補助対象牛の認定要件を明確化する見直しを行った。産ませて保留する自己保留牛であつても、基準となる数値を満たした牛は対象となる。

千屋牛増頭奨励金もあるが、こちらは黒毛和牛の雌牛購入に對してのみで、自家保留牛は対象とならない。



▲雪原へ放牧中の千屋牛



なかだ よしと
仲田 芳人
議員

「技術交流プラザ」開設を

問 市内には素晴らしい技術力がある。新技術創造のためのプラットフォーム（※環境・土台）と異業種交流の場となる「技術交流プラザ」開設の考えは。

答 優れた技術を有する事業所の連携で、新たなイノベーション（※技術革新）が期待できる。新技術開発を考慮する場の取組を関係団体等と協議しながら研究したい。

起業の卵 ふ化施設を

問 「i-BOXにいま」解体に伴い、今後の起業のインキュベーション（※起業や新事業の創出を支援すること）機能とともに、デジタル田園都市構想に対応し、遠隔勤務等にも対応できる拠点整備の考えは。

答 県産業振興財団や県工業技術センターの活用を推進し、高梁川流域経済成長戦略会議での企業連携への参画を促し、国の施策にアンテナ高く対応したい。

「ら・くるっと」バス増台と新路線

問 「ら・くるっと」のバスを増台し、東西ルートの新しい路線の考えは。

答 車両や運転手の確保、タクシーとの競合、経費など厳しい課題がある。アンケートやニーズ調査等を踏まえ、利用しやすい交通体系を検討している。



JR利用促進を提案

問 芸備、姫新線の全通85年記念式典企画の考えは。またJR利用誘導のため、乗り鉄や音鉄、模型鉄やミニSLなど全国の鉄道愛好家の催事や市民交流、大学の鉄道研究会サミット、車内での音楽会・歌声列車の企画や沿線のまちの団体との交流に助成の考えは。

答 提案の利用促進のアイデアは、市鉄道利用促進協議会で令和4年度の利用促進策を検討する中で、議論を進めていきたい。



いわた ひでゆき
岩田 秀之
議員

安全・安心について

問 県道新見川上線と県道下神代哲多線の交差点の拡幅はできないか。

答 当該交差点は、信号機も

設置されている整備済みの交差点であり見通しもよく、交通量を考慮しても通行に支障がないことから現段階では幅員の拡幅は考えていないが、今後も状況を注視していく。



▲県道新見川上線と県道下神代哲多線の交差点

防災・減災について

問 平成12年10月6日に発生した鳥取県西部地震の被害状況を踏まえ、南海トラフ巨大地震の被害想定をどのようにとらえているのか。

答 不測の災害に備えることは、非常に大切であり、防災訓練や木造住宅の耐震化支援等に取り組みながら、日々緊

張感をもって臨んでいる。

問 地震の被害を最小限に食い止めるための施策として、地震火災を防ぐための感震ブレイカーや転倒防止器具の補助事業は考えていないのか。

答 提案の感震ブレイカーや転倒防止器具は、消火器や、全ての住宅に設置が義務化されている火災警報器と同じく、地震の被害を抑える器具の1つであると認識している。感震ブレイカーなどに対する補助事業については、今後、他市の事例等を参考にしながら調査、研究していく。

問 今後の震災対策としての意識改革と啓発活動の取組は。

答 防災訓練などを継続的に行っていくことで、災害に対する備えを心がけていただけるよう、啓発に努めていきたい。



こがわ としふみ
小河 俊文
議員

ウィズコロナについて

問 新型コロナウイルス感染症の経済への影響は。

答 多岐の業種に渡っており、中小企業者等一時支援金の申請状況では、飲食業、小売業、理美容業の順で申請を受けている。

問 にーみん食ーぽんの使用状況は。

答 11月末時点で、市民全員に1人2千円分を配布したものは6万124枚使用があり、プレミアムにーみん食ーぽんは17万8335枚を販売している。

問 飲食店以外の支援については。

答 新型コロナウイルスの感染状況や国、県の動向を注視し、適切な支援策を関係機関と連携して対応していく。

城山公園について

問 公園内の古木や大木の伐採は。

答 12月定例会へ補正予算を提案しており、大規模な伐採を予定している。

問 公園周辺の私有地の荒廃問題は。

答 所有者と連絡を取り整備を働きかける。

旧市民会館について

問 解体についての検討状況は。

答 周辺施設との一体的な利活用は断念した。老朽化が進んでいるので解体を検討する時期にきている。

安心安全について

問 河川の整備について。

答 県へしっかりと働きかける。

問 歩道の整備について。

答 国道180号及び県道新見日南線については県にしっかりと働きかける。中町・本町のインターロッキング(※)コンクリートブロック同士を

かみ合うような形にし、レンガ調に組み合わせた舗装方法)については地元と協議し適切な整備をしていく。

問 風木谷川の今後の整備について。

答 現在、随時整備を進めている。上流部の砂防指定地部分については、工事を発注済みである。



にしかわ てるお
西川 照雄
議員

木材の利用促進について

問 新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業の「新見産材」とは。

答 市内に本社、製材所がある建材販売業者の供給する国産材製品や市内の法人、個人が製材した国産材製品と定義している。

問 市内の原木取扱量は、約12万m³だが、新見産材としての流通量は。また、新築や増

改築助成の拡充を提案するが。

答 市内の市場から製材所への原木流通量は、約6千³mであるが、製材後の新見産材の流通量は把握できていない。制度の拡充については、市民のニーズを把握しながら調査、研究する。

問 おかやまの木で家づくり支援事業の助成が併用できない状況の改善は。

答 併用できないことは承知している。今後、本市の対象となった住宅を施工する市内の工務店などに対して、新たな補助制度を創設するかどうか調査、研究する。

問 大規模な木材流通団地の形成や共同製材加工・人工乾燥施設の整備が必要ではないか。

答 本市でも、一団地の中で集材から製材・加工までを行うことは有効であると認識する。様々な課題があるので、近隣の事例を参考に情報収集、関係団体との意見交換を行う。

問 新見産のヒノキの実証実験も実施されているが、大径木の活用について非住宅へ

の助成制度を設ける考えは。

答 実験については承知している。支援制度については、市民ニーズを把握し、調査、研究する。

問 新見産材の輸出推進、JAS規格の取得や維持について支援する考えは。

答 ヒノキの輸出は、岡山県産材販路推進協議会を通じて販路拡大に努める。JAS規格については、林業関係者と意見交換を行い、支援策を調査、研究する。



▲大径木活用住宅例



ふるかわ ひであき
古川 英明
議員

戎市政の成果と課題について

問 外部から地域創生等の政策アドバイザーを招請したらどうか。

答 まちの魅力づくりを推進する上で、外部の意見を市政に生かすことは重要だと考える。包括協定を結んでいる企業との連携した事業実施、また令和4年1月からJRW日本より人材を受け入れるなど、様々な分野の外部意見を活用しながら市政運営を進めたい。

若者の考えを生かすまちづくりの推進について

問 将来の本市を担う若者の考えを市政に生かすことが重要だと思ふが。

答 若者世代の意見は重要だ。新見駅周辺のまちづくりワークショップや地域運営組織の設立準備段階などで、中学生から大

学生まで多くの若い世代から意見をいただいている。今後も様々な場面で積極的に意見をもらえるよう取り組んでいきたい。

問 新見市子ども条例に位置づけられている子ども会議の実施展望は。

答 12月24日(金)に新見公立大学(地域共生推進センター)で、中学生を対象にまちづくりプレゼンテーションを実施する。各校の代表にふるさとキャリア教育の成果発表やまちづくりの提言をしてもらう。感想や振り返りを通して交流も図りたい。初めての開催になるので、実施した結果を検証し、工夫しながら改善していきたい。(開催済み)

【その他の質問項目】

●戎市政の成果と課題については、4項目の公約を中心に成果と課題を質し、令和4年度の予算や政策にしっかりと反映するよう求めた。

●医療費抑制の政策展開と市民への啓発推進については、医療費抑制の観点から、市民への健康意識向上と、その啓発の一層の推進を求めた。

ごみんの

議会 Q & A



Q 議会報告・意見交換会はどのようなものですか？

A 議会報告・意見交換会は、議員が各地域の会場に出かけ、議会活動に関する情報等を報告し、市民の皆様の見解や提言を直接つかがい、議会活動に反映させるものです。

例年、4つの班に分かれ、17の会場に出向いて開催しています。いずれの会場も地域・年齢の制限なく参加することができます。

しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和2年度、3年度と中止しています。

新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、再開します。

Q 今年度は議会報告・意見交換会に代わることを実施しますか？

A このような状況を受け、「市政への課題」「議会改革」について市民の皆様のご意見・提言をいただきたくと考え、アンケートを実施することといたしました。本紙にアンケートを掲載していますので、皆様のご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

3月定例会(予定)

18日 (金)	17日 (木)	16日 (水)	15日 (火)	14日 (月)	11日 (金)	10日 (木)	9日 (水)	8日 (火)	7日 (月)	4日 (金)	3日 (木)	2日 (水)	3月1日 (火)	2月17日 (木)
本会議 閉会	議会運営委員会	委員会(予備日)	議会広報特別委員会	新見駅周辺地域のまちづくり特別委員会	予算決算常任委員会	予算決算常任委員会	予算決算常任委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務消防常任委員会	本会議(予備日)	本会議・一般質問	本会議・代表質問・一般質問・議会運営委員会	本会議 開会

編集後記

お正月には、どんなご馳走を食べられたでしょうか。

さて、今、新型コロナウイルスワクチン接種が進められています。これら医薬品はたくさん動物実験を経て安全性が確認されてから私たちの元へ届くのです。化粧品や農薬・化学薬品などあらゆるものが、たくさん動物の犠牲の上に生産されているのです。

また、山を切り開いて宅地を造成し道路を付け、護岸工事をして川をきれいにするには、住みよい街にするために必要なことですが、たくさん生き物が住処(すみか)を追われます。

今の私たちの快適な生活は、たくさん犠牲の上に成り立っていることを自覚し、感謝して暮らしていくことを心掛けたいものです。今年も良い年でありませうように。

(峠田 一也)

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見310-3
電話 0867-72-6151
FAX 0867-72-6183

メール
gikai@city.niimi.lg.jp